

平成21年1月22日

各位

会社名 株式会社エンプラス  
代表者名 代表取締役社長 横田 大輔  
(コード番号 6961 東証第一部)  
問合せ先 取締役兼執行役員経営戦略本部長  
酒井 崇  
(TEL. 048-253-3131)

### 特別損失の発生 及び 業績予想の修正に関するお知らせ

この度、下記のとおり特別損失の計上を行うこととなりましたので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年10月24日に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1.特別損失の発生およびその内容

経営資源の選択と集中を図るため、矢板工場のオプト関連事業の生産機能をベトナムの製造販売子会社 Enplas (Vietnam) Co., Ltd. へ移管したことに伴い、同工場は稼働停止することと致しました。これにより、当第3四半期において、同工場の建物および生産設備等の減損損失1,316百万円、および同工場の解体費用として工場閉鎖損失引当金757百万円を計上いたします。

#### 2.平成21年3月期 通期 業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

##### (1)連結業績予想数値の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	26,000	△500	200	△600
今回修正予想(B)	21,000	△2,000	△2,000	△6,000
増減額(B-A)	△5,000	△1,500	△2,200	△5,400
増減率(%)	△19.2	-	-	-
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	29,112	796	763	△1,164

## (2) 個別業績予想数値の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	11,500	△1,400	100	△350
今回修正予想(B)	10,000	△2,500	△900	△3,500
増減額(B-A)	△1,500	△1,100	△1,000	△3,150
増減率(%)	△13.0	-	-	-
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	11,576	△1,484	1,115	△329

## 3. 修正の理由

米国金融危機に伴う急激な世界規模での景気減速により、当社と関係の深い OA 機器、自動車関連製品、半導体市場などの動向も急速に悪化しております。最終製品の販売低迷の中、当社の予想をはるかに越える顧客の生産調整と大幅な需要減に伴い、エンプラ事業、オプト関連事業、半導体機器事業共に、売上高が大きく減少する見込みとなりました。

営業利益、経常利益につきましても、経費削減等に取り組んでまいりましたが、売上高の減少、急激な円高の影響もあり、前回予想を下回る見込みです。

また、2008年11月28日に発表いたしました事業再構築に関する費用や上記の減損損失等に係る特別損失の発生により、連結ベースで6,000百万円の当期純損失となる見込みです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上